※令和４年度以降入学生用

学校番号	106

令和８年度　理科

教科	理科	科目	生物基礎	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	改訂版　高等学校　生物基礎　（数研出版）						
副教材等	リードα　生物基礎　（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「Study Nature Not Books」の理念を大切に、教科書の知識に偏らない生物の理解を深め、同時に、受験にも対応できも基礎学力を身につける。また、ヒトを含む生物を「遺伝子」「恒常性」「生態系」の３つの観点から見直し、自然を大切にしながら生活することや自分自身の健康などを意識して、生命の大切さを考え学ぶ。

2　学習の到達目標

(1) 知識及び技能　：観察・実験を通じて、生物や生命現象についての基本的な概念、法則の理解を深める。
(2) 思考力、判断力、表現力等　：生物や生物現象について、観察・情報収集・仮説設定・実験計画・仮説の検証という探究の方法を習得する。また、探究活動の結果を発表する。
(3) 学びに向かう力、人間性等　：生物や生命現象に対して、主体的に関わり、科学的に探究する態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	日常生活や社会との関連を図りながら，生物や生物現象についての観察，実験などを行うことを通して，生物や生物現象に関する基本的な概念や原理・法則を理解するとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能が身に付いている。	生物や生物現象を対象に，探究の過程を通して，問題を見いだすための観察，情報の収集，仮説の設定，実験の計画，実験による検証，調査，データの分析・解釈，推論などの探究の方法が習得できている。また，報告書を作成したり発表したりして，科学的に探究する力が育まれている。	生物や生物現象に対して主体的に関わり，それらに対する気付きから課題を設定し解決しようとする態度など，科学的に探究しようとする態度が養われている。その際，生命を尊重し，自然環境の保全に寄与する態度が養われている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第一部　生物の特徴	1章　生物の特徴 生物の多様性 生物の共通性 生物の進化と系統 細胞と個体の成り立ち 真核細胞の構造 原核細胞の構造 生命活動とエネルギー ATP の構造 生体内の化学反応と酵素 光合成と呼吸	a:細胞の構造と代謝にまつわる用語等を把握できている。 b:すべての生物に見られる共通な特徴を理解している。 生物の体の基本単位である細胞の構造について理解している。 生命活動に必要なエネルギーをどのように獲得しているのかを理解している。 c:以上の確認や発展課題に対して積極的に取り組んでいる。	定期考査	定期考査	提出物 振り返り
	第二部　遺伝子とその働き	2章　遺伝子とその働き 生物と遺伝情報 DNA の構造と遺伝情報 DNA の複製 DNA と染色体 細胞周期と DNA の分配 細胞周期と DNA 量の変化	a:DNA の構造と細胞分裂にまつわる用語等を把握できている。 b:DNA にはどのような特徴があるか理解している。 遺伝情報が親から子へどのように受け継がれているのかを理解している。 c:以上の確認や発展課題に対して積極的に取り組んでいる。	定期考査	定期考査	提出物 振り返り
2学期		遺伝子発現とタンパク質 転写と翻訳 遺伝暗号表 遺伝子発現と維持	a:転写と翻訳にまつわる用語、遺伝暗号表の読み取り方等を把握できている。 b:遺伝情報からどのようにしてタンパク質が作られるのかを理解している。 c:以上の確認や発展課題に対して積極的に取り組んでいる。	定期考査	定期考査	提出物 振り返り
	第三部　ヒトの体の調節	3章　神経系と内分泌系による調節 恒常性と体液 血液凝固と線溶 恒常性に関わる神経系 自律神経と脳死 ホルモンによる調節 血液濃度の変化と糖尿病 血液濃度の調節のしくみ 体温と水分量の調節	a:循環系、自律神経系にまつわる用語やホルモンとその働きを把握できている。 b:ヒトの体内環境の変化がどのように認識されるのかを理解している。 ヒトの体内環境の変化に応じて、どのようなしくみが働いて一定の状態に保たれるのかを理解する。 c:以上の確認や発展課題に対して積極的に取り組んでいる。	定期考査	定期考査	提出物 振り返り

※令和４年度以降入学生用

		4章　免疫 生体防御の概要 異物を阻止する仕組み 自然免疫の仕組み 獲得免疫の概要 細胞性免疫と体液性免疫 抗体とその利用 免疫記憶とその利用 免疫と病気	a:生体防御にまつわる用語や仕組みを把握できている。 b:　ヒトの体は、病原体の侵入をどのようなしくみで防いでいるのかを理解している。 c:以上の確認や発展課題に対して積極的に取り組んでいる。	定期考査	定期考査	提出物 振り返り
3学期	第四部　生物の多様性と生態系	5章　植生と遷移 環境と生物 光の強さと植物 森林の階層構造と土壌 遷移の過程 遷移に伴う環境の変化 遷移と世界のバイオーム 日本のバイオーム	a:植生やバイオームにまつわる用語や植物種名、遷移の過程を把握できている。 b:　植生と環境が、時間の経過とともにどのように移り変わっていくのかを理解している。 c:以上の確認や発展課題に対して積極的に取り組んでいる。	定期考査	定期考査	提出物 振り返り
		6章　生態系とその保全 生態系における生物の役割 種多様性と食物連鎖 生態系と生態ピラミッド キーストーン種と絶滅 生態系のバランスと変動 人間活動と生態系 生物濃縮 外来生物 生物多様性と生態系の保全 生態系と人間生活	a:生態や環境にまつわる用語を把握できている。 b:　生物どうしの関わり合いが生物多様性にどのように影響しているのかを理解している。 　人間活動が生態系に与える影響を理解し、どのようにすれば生態系を保全することが出来るのかを理解している。 c:以上の確認や発展課題に対して積極的に取り組んでいる。	定期考査	定期考査	提出物 振り返り

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度